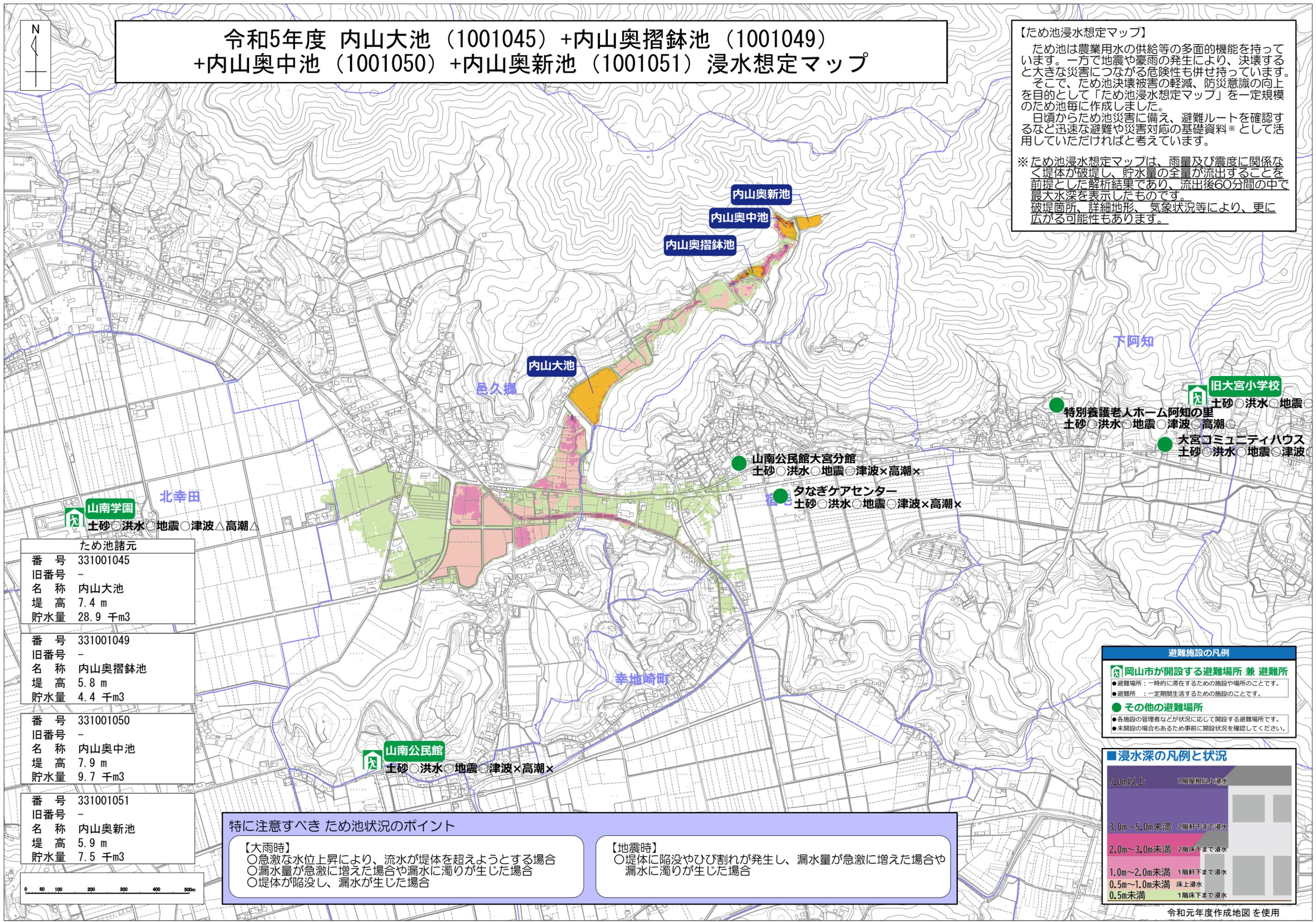


令和5年度 内山大池 (1001045) +内山奥摺鉢池 (1001049) +内山奥中池 (1001050) +内山奥新池 (1001051) 浸水想定マップ

【ため池浸水想定マップ】
 ため池は農業用水の供給等の多面的機能を持っています。一方で地震や豪雨の発生により、決壊すると大きな災害につながる危険性も併せ持っています。そこで、ため池決壊被害の軽減、防災意識の向上を目的として「ため池浸水想定マップ」を一定規模のため池毎に作成しました。
 日頃からため池災害に備え、避難ルートを確認するなど迅速な避難や災害対応の基礎資料*として活用していただければと考えています。

*ため池浸水想定マップは、雨量及び震度に関わらず堤体が破壊し、貯水量の全量が流出することを前提とした解析結果であり、流出後60分間の中で最大水深を表示したものです。
 破堤箇所、詳細地形、気象状況等により、更に広がる可能性もあります。



ため池諸元	
番号	331001045
旧番号	-
名称	内山大池
堤高	7.4 m
貯水量	28.9 千m3

番号	331001049
旧番号	-
名称	内山奥摺鉢池
堤高	5.8 m
貯水量	4.4 千m3

番号	331001050
旧番号	-
名称	内山奥中池
堤高	7.9 m
貯水量	9.7 千m3

番号	331001051
旧番号	-
名称	内山奥新池
堤高	5.9 m
貯水量	7.5 千m3

特に注意すべきため池状況のポイント

【大雨時】
 ○急激な水位上昇により、流水が堤体を超えようとする場合
 ○漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
 ○堤体が陥没し、漏水が生じた場合

【地震時】
 ○堤体に陥没やひび割れが発生し、漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合

避難施設の凡例	
	岡山市が開設する避難場所兼避難所
●	避難場所：一時的に滞在するための施設や場所のことです。
●	避難所：一定期間生活するための施設のことです。
	その他の避難場所
●	各施設の管理者などが状況に応じて開設する避難場所です。
●	未開設の場合もあるため事前に開設状況を確認してください。

浸水深の凡例と状況	
5.0m以上	2階屋根以上浸水
3.0m~5.0m未満	2階軒下まで浸水
2.0m~3.0m未満	2階床下まで浸水
1.0m~2.0m未満	1階軒下まで浸水
0.5m~1.0m未満	床上浸水
0.5m未満	1階床下まで浸水